

B U S I N E S S
R E P O R T

企業価値を高める
セールスプロモーション

株主・投資家の皆様へ

第42期ビジネスレポート

平成24年8月1日～平成25年7月31日

CONTENTS

トップメッセージ	02
業績の推移	03
第42期トピックス	04
セグメント別業績	06
第43期の見通し	07
連結財務諸表	08
個別財務諸表	10
会社概要・株式の状況	11

 総合商研株式会社

(証券コード: 7850)

株主の皆様へ To our shareholders



代表取締役会長 加藤 優

代表取締役社長 片岡 廣幸

株主の皆様には、平素より当社をお引き立て頂きまして、誠にありがとうございます。ここに第42期連結累計期間（平成24年8月1日～平成25年7月31日）のビジネスレポートをお届けするとともに、日頃の温かいご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年12月の政権交代後に実施されたアベノミクスを契機として、円安・株高が進み、個人消費の増加によりGDPは2期連続して2%以上の成長を達成する等、景気回復が徐々に実感される状況となっていました。一方で円安によるマイナスの影響や消費税増税を巡る動き等、引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループが位置する印刷業界におきましては、企業の広告宣伝費は景気回復局面の後半から増加する特性があるため、未だ厳しい状況が続いております。このような環境の中、当社グループは、「顧客に根付く・地域に根付く・人が根付く」を本年度の目標として掲げ、青森県、岩手県の2ヶ所に新たな営業所を開設し新規受注を積極的に取り込む体制を構築するとと

もに、パッケージ・ラベル印刷やインストアプロモーションといった新たな販促媒体を取り入れ、事業領域を拡充いたしました。また、受注が増加しております年賀状印刷において安定的な生産体制の整備・運営に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は15,252百万円（前年同期比1,498百万円増）と増収となりました。

また、利益につきましても、営業利益は227百万円（前年同期比92百万円増）、経常利益は260百万円（前年同期比101百万円増）と、それぞれ増益となりました。当期純利益につきましても、159百万円（前年同期比116百万円増）と、増益となりました。

今後も、経営環境の厳しさは続くものと思われますが、販売促進支援機能を強化した事業展開を進め、一層の業績拡大に取り組んで参ります。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年10月

業績の推移

■当社は、40期より連結決算に移行したため、平成22年7月以前の数値は、単体決算であり参考値です。

単位：百万円

	39期 平成22年7月期	40期(連結) 平成23年7月期	41期(連結) 平成24年7月期	42期(連結) 平成25年7月期
売上高	11,829	12,004	13,754	15,252
営業利益又は営業損失(△)	82	△41	134	227
経常利益又は経常損失(△)	85	△35	159	260
当期純利益又は当期純損失(△)	△9	△68	42	159
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(円)(△)	△3.11	△22.67	14.31	53.83
1株当たり配当金(円)	15	15	15	15
純資産	1,723	1,634	1,668	1,859
総資産	6,069	6,663	6,943	7,254
従業員(人)	386	420	433	446

※△印は損失を示しております。



盛岡営業所 開設

平成25年7月、岩手県盛岡市に盛岡営業所を開設いたしました。今後、東北地方を新たな営業注力エリアとして、既存の青森営業所・仙台営業所を含めた3拠点でより一層地域に根付き、既存クライアントの深耕はもちろん、新規顧客の開拓を積極的に進めて参ります。



植物工場プラント販売代理店に

総合商研グループは、南極・昭和基地や外食大手の(株)コロワイド様への植物工場プラント納入実績がある完全閉鎖型LED植物工場プラント開発・製造・販売の(株)キーストーンテクノロジー(横浜市)の販売代理店になりました。

グループの主要顧客である流通小売業、外食産業、食品関連産業向けサービスとして、43期より本格展開してまいります。

これに伴い、札幌本社工場の実験プラントは本年10月より本格稼動いたします。



「味覚センサー」の開発者 都甲教授が紫綬褒章受章

子会社の(株)味香り戦略研究所でも使用している「味覚センサー」の開発者 九州大学都甲教授が平成25年春の紫綬褒章を受章されました。「味覚センサー」は、「酸味」「苦味」「旨味」などの味覚を数値で評価することができ、(株)味香り戦略研究所ではこれを用いて、食品メーカー向け商品開発・マーケティング支援などのサービスを提供しています。



味覚センサー



味香り戦略研究所
Taste & Aroma Strategic Research Institute

ふりっぱー札幌南版月2回発行開始

現在、札幌市内10区を地区ごとに4版に分けて83.1万部を発行している地域新聞ふりっぱー。昨年2月より札幌西版が月2回発行を開始しておりましたが、今年3月より札幌南版も月2回の発行を開始いたしました。今までとは違うテイストで地域に密着した情報をお届けしています。

また、最近ではAR(拡張現実)という技術を利用して、誌面をスマートフォンで読み込むとスマートフォンの画面に動画が表示されるという仕組みを積極的に活用しています。これにより、さらに多くの情報を届けることができるので、新たな販促支援コンテンツとして提案を行っています。



札幌西版 1日号



札幌南版 1日号



白石厚別版 1日号



札幌北東版 1日号



札幌西版 15日号

下のAR動画の設定を行って、この表紙にスマートフォンをかざしてください

札幌南版 15日号



AR動画視聴方法

①アプリをダウンロード

スマホやタブレットに「Aurasma」(オーラズマ・AR用アプリ)をインストールします。App Store もしくはGoogle Play Storeで検索・インストール後、Aurasmaはいったん終了してください。



無料です!

②設定用QRコードを読み取る

Aurasmaは、そのままでは本誌ARを見られません。Aurasmaとは別のQRコードリーダーアプリで、右のQRコードを読み取りましょう。Aurasmaが自動起動しますが、しない場合は手動で起動してください。



※この操作は
最初の1回のみでOK

③本誌のAR(動く)写真にかざす

Aurasmaを使ったARの見かたを、わかりやすく動画にまとめました。このQRコードを読み取ってご覧ください。



※スマホやタブレットの性能、通信環境により、動画開始に時間がかかります。グルグルが出ない方は②からやり直してください。

商業印刷事業

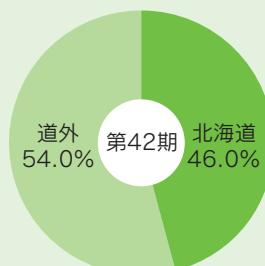
商業印刷事業におきまして、流通小売業を中心とした新規クライアントからの受注獲得が進み、当事業の売上高は10,356百万円（前年同期比361百万円増）となりました。利益につきましては、採算管理を強化したことから、営業損失は180百万円（前年同期の営業損失は258百万円）となりました。

商業印刷事業売上高

単位:百万円



北海道対本州の売上高の比率



年賀状印刷事業

年賀状印刷事業におきましては、日本郵政グループ向けの受注が大幅に増加し、パック年賀状の取扱件数は496万パックと前年同期比296万パックの増加となりました。名入れ年賀状の取扱件数につきましても、前年同期比8万件増加の135万件となったことから、当事業の売上高は4,867百万円（前年同期比1,126百万円増）、営業利益は730百万円（前年同期比70百万円増）と、增收増益となりました。

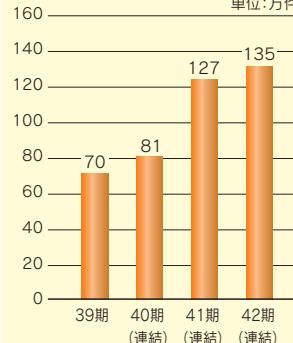
年賀状印刷事業売上高

単位:百万円



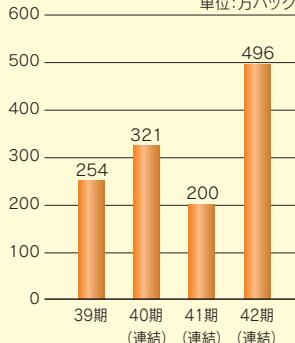
名入れ年賀状取扱件数

単位:万件



パック年賀状取扱件数

単位:万パック



成長・発展・進化

売上増強と
収益力の強化

新たな事業への
積極的な取り組み

生産性の向上

営業拠点の
拡充と強化

財務体質の強化

組織力の強化

連結業績予想 単位：百万円

売上高 16,000

営業利益 270

経常利益 300

当期純利益 180

1株当たり当期純利益
60円90銭

第43期は、一層の業績拡大を図るため、次の施策に取り組んでまいります。

売上の増強

- パッケージ印刷・インプロ分野の取り組み拡大
- 年賀状印刷の大口取引先深耕、新規営業の強化

組織力の強化

- エリア運営から事業部運営への移行による
全国展開主要顧客ニーズへの対応
- 重点事業・拠点への人員配置

子会社・グループ企業との連携

- 新たなサービスへの取り組み、拡大
- 業務体制の見直し

連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	前連結会計年度 平成24年7月31日	当連結会計年度 平成25年7月31日
資産の部		
流動資産	3,204	3,411
固定資産	3,739	3,843
有形固定資産	2,724	2,673
無形固定資産	144	155
投資その他の資産	870	1,013
資産合計	6,943	7,254
負債の部		
流動負債	2,793	2,899
固定負債	2,481	2,495
負債合計	5,275	5,394
純資産の部		
株主資本	1,557	1,671
資本金	411	411
資本剰余金	441	441
利益剰余金	733	848
自己株式	△ 29	△ 29
その他の包括利益累計額	107	183
少数株主持分	3	4
純資産合計	1,668	1,859
負債純資産合計	6,943	7,254

連結損益計算書

単位:百万円

科目	前連結会計年度 自 平成23年8月 1日 至 平成24年7月31日	当連結会計年度 自 平成24年8月 1日 至 平成25年7月31日
売上高	13,754	15,252
売上原価	9,786	11,069
売上総利益	3,967	4,183
販売費及び一般管理費	3,832	3,956
営業利益	134	227
営業外収益	98	104
営業外費用	74	71
経常利益	159	260
特別利益	13	0
特別損失	51	12
税金等調整前当期純利益	121	249
法人税、住民税及び事業税	94	96
法人税等調整額	△ 11	△ 7
少数株主損益調整前当期純利益	38	160
少数株主利益又は損失	△ 4	0
当期純利益	42	159

連結包括利益計算書

単位:百万円

科目	前連結会計年度 自 平成23年8月 1日 至 平成24年7月31日	当連結会計年度 自 平成24年8月 1日 至 平成25年7月31日
少数株主損益調整前 当期純利益	38	160
その他の包括利益	46	76
包括利益	84	236

※△印は損失を示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	前連結会計年度 自平成23年8月 1日 至 平成24年7月31日	当連結会計年度 自平成24年8月 1日 至 平成25年7月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	374	383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△803	△ 460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 18	137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 446	61
現金及び現金同等物の期首残高	1,632	1,185
現金及び現金同等物の期末残高	1,185	1,246

配当金について

当社グループは、株主の皆様へ利益還元を経営上の重要な課題として捉え、企業体質の強化及び今後の事業展開に備えた内部留保を勘案しながら、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、剩余金の処分につきましては、以下のとおりといたします。

1. 期末配当 1株につき 8円

(注) 中間配当を含めた年間配当は、1株につき15円となります。

2. 支払開始日 平成25年10月30日(水)

連結株主資本等変動計算書（自 平成24年8月1日 至 平成25年7月31日）

単位：百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
前期末残高	411	441	733	△ 29	1,557	107	107	3	1,668
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△44		△44				△44
当期純利益			159		159				159
自己株式の取得				△ 0	△0				△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						76	76	0	76
連結会計年度中の変動額合計			114	△ 0	114	76	76	0	191
当期末残高	411	441	848	△ 29	1,671	183	183	4	1,859

個別財務諸表

貸借対照表

単位:百万円

科目	前事業年度 平成24年7月31日	当事業年度 平成25年7月31日
資産の部		
流動資産	3,121	3,342
固定資産	3,843	3,936
有形固定資産	2,688	2,646
無形固定資産	144	155
投資その他の資産	1,011	1,134
資産合計	6,965	7,278
負債の部		
流動負債	2,787	2,895
固定負債	2,486	2,501
負債合計	5,274	5,397
純資産の部		
株主資本	1,583	1,697
資本金	411	411
資本剰余金	441	441
利益剰余金	759	873
自己株式	△ 29	△ 29
評価・換算差額等	107	183
その他有価証券評価差額金	107	183
純資産合計	1,691	1,880
負債純資産合計	6,965	7,278

損益計算書

単位:百万円

科目	前事業年度 自 平成23年8月 1日 至 平成24年7月31日	当事業年度 自 平成24年8月 1日 至 平成25年7月31日
売上高	13,642	15,173
売上原価	9,768	11,053
売上総利益	3,873	4,119
販売費及び一般管理費	3,737	3,901
営業利益	136	217
営業外収益	105	112
営業外費用	72	70
経常利益	169	259
特別利益	12	0
特別損失	42	12
税引前当期純利益	138	247
法人税、住民税及び事業税	94	96
法人税等調整額	△ 12	△ 6
法人税等合計	81	89
当期純利益	56	158

会社概要

商 号	■ 総合商研株式会社
本 社 所 在 地	■ 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
設 立	■ 昭和47年12月18日
資 本 金	■ 411,920千円
従 業 員 数	■ 446名(単体436名)
主 要 事 業	<p>■ 商業印刷事業 年賀状印刷事業 その他事業</p>
事 業 所	<p>■ 本社、東京支社、大阪支社、九州支社、 旭川営業所、青森営業所、盛岡営業所、 仙台営業所、和歌山営業所</p>
工 場	<p>■ 本社工場、白石工場、旭川工場、 厚木工場、伊勢原工場</p>
子 会 社	<p>■ プリントハウス株式会社 株式会社味香り戦略研究所</p>
関 連 会 社	<p>■ 株式会社あるた出版 システムデザイン開発株式会社</p>

取締役・監査役

代表取締役会長	■ 加藤 優
代表取締役社長	■ 片岡 廣幸
常務取締役	<p>■ 菊池 健司 ■ 高谷 真琴</p>
取締役	<p>■ 菊地 弘人 ■ 小林 直弘</p>
常勤監査役	■ 大居 啓子
監査役	<p>■ 長谷 熱 ■ 山川 寛之</p>

注)長谷熱氏および山川寛之氏は社外監査役であります。

株式の状況

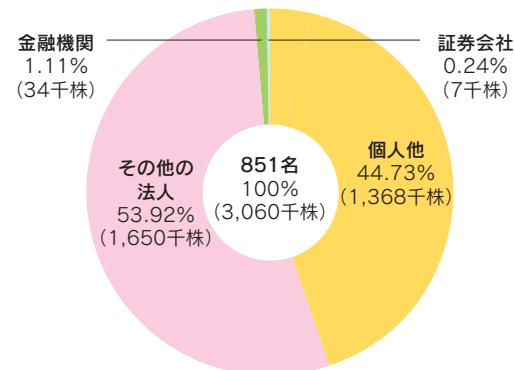
発行可能株式の総数	■ 8,000,000株
発行済株式の総数	■ 3,060,110株
株主数	■ 851名
注)当社は自己株式104,521株を保有しております、上記株主数に含まれております。	

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
合同会社実力養成会	■ 783	26.49
株式会社小森コーポレーション	■ 140	4.74
大日精化工業株式会社	■ 140	4.74
総合商研従業員持株会	■ 100	3.41
株式会社光文堂	■ 100	3.38
小松印刷株式会社	■ 100	3.38

株主分布状況

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月開催
基準日	定時株主総会 毎年7月31日 期末配当金 每年7月31日 中間配当金 每年1月31日 その他必要がある時は、予め公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載して行います。 (電子公告掲載URL http://www.shouken.co.jp/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
証券コード	7850

お問い合わせ

総合商研株式会社 企画管理本部
〒007-0802 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
電話:011-780-5677(代表)
<http://www.shouken.co.jp/>

株主優待のご案内

毎年7月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された1,000株以上の株主を保有されている株主の皆様に、次の株主優待を実施しております。

- 北海道の特産品(3,000円程度)のお届け
- 年賀状印刷の期間限定早期受付割引サービス
(通常料金から30%の割引)



総合商研株式会社

このビジネスレポートは、石油使用量と揮発性有機溶剤の発生を抑える為の植物油インキを使用し、回収廃液を発生させない「水なし印刷」方式で印刷しております。

